

一般質問発言通告書

議席番号 21 番 氏名 川神 裕司

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 地域医療・福祉の充実に対する課題について

(1) 医療人材育成拠点の一つである「准看護学校」閉校に伴う対処策について

本年、地域医療を支えている民間開業医の重要スタッフである「准看護師」の育成機関の廃止が決定し地域医療の推進に大きな影を落としている。この件に関して市長は何とか対処策を講じたいと明言されていたが、現在の考え方はどうか伺う。

(2) 福祉人材確保策としての「シングルペアレント」受入事業の総括について

福祉人材育成・確保は地域の安心を支える介護・福祉の根幹と捉えている。この「シングルペアレント受入事業」は当時の石破茂地方創生担当大臣からも高い評価を受けた先進事例。しかしながら不調に終わったことは残念。市長のこの事業も含め介護福祉施策の総括を問う。

2. 海上自衛隊補給基地誘致活動の検証について

(1) 海上自衛隊補給基地誘致活動の意義について

今まで浜田港振興の観点からも、長きに渡り商工会議所、議会と共に防衛省陳情をはじめ、国県要望を精力的に提出してきた。あらためて誘致に対する意義を明確に示してほしい。

(2) 今までの様々な取組活動に対する検証について

県においても知事からの理解や防衛省訪問時の対応等大きな一歩は踏み出してはいるが、まだ実現に対しての道程は遠いと感じている。現在今までの活動の流れをどう捉えているのか。越えなくてはならない課題は何なのか、市長の検証を伺う。

(3) この事業の継続に対する市長の想いについて

長きにわたる本誘致活動は、多くの市民から支持を得ているものと理解している。市長は後任に対して実現へ向けてのどのようなメッセージを発信されるのか伺う。

3. 石見神楽振興戦略の検証と未来について

(1) 市長の考えた「石見神楽を核としたまちづくり」の意義について

市長就任後、地域の誇りである「石見神楽」の保存・振興に力を注いでこられたと思う。市長にとって石見神楽を核とした地域づくりは浜田市に何をもたらしたと考えるのか、所見を問う。

(2) 今まで神楽振興に対して取り組んできた施策の検証について

神楽振興に対しては、蛇胴文化財指定、後継者育成対策、社中運営支援、情報発信強化等多岐にわたり取り組まれたと評価している。市長として一連の神楽振興施策に対する検証を問う。

(3) 今回高い評価を受けた万博公演がもたらす地域活性化について

今回の大阪・関西大阪万博への55頭の大蛇の演出は世界に大きな衝撃を与えた。併せてオール浜田で参加し一体感が持てたことの意義は大きい。しかし、万博後の観光振興に繋がる戦略と地元で神楽の魅力を伝える環境をどう整備するか課題もある。市長が期待する万博効果に関して伺う。

(4) 市長が考える石見神楽伝承拠点整備に対する課題について

市長が提唱した「石見神楽伝承館」等、情報発信拠点施設の整備に関し、具体的な設置場所の提案やコンセプトの提示が行われてきた。議会においても議論が重ねられ、市民に対する説明不足等の事業遂行のプロセスに問題があるとも指摘され、拠点施設整備に舵は切られていない。神楽振興には多くの方が賛同する中、拠点施設に関しては議論が白熱している。現時点で市長が提唱する「石見神楽伝承拠点施設」推進のための課題はどこにあると考えているか伺う。

(5) これからの石見神楽振興に対するメッセージについて

石見神楽は間違いなく地域再生の大きな柱となると認識している。今後石見神楽の振興戦略をブラッシュアップし積極的に取り組むことが求められているが、そのために神楽関係者、地域住民との価値観の共有が必要と思う。市長は今までの熱い神楽愛を後任に引き継ぐためのメッセージをどう送るのか想いを伺う。